

ハイブリッドカラー栽培に適した土壌水分

福島県農業試験場 いわき支場
平成16年度農業試験場試験成績概要

1 部門名

花き—カラー—水管理・水分制御
分類コード 05-06-14000000

2 担当者

諏訪理恵子・矢吹隆夫

3 要 旨

ハイブリッドカラーの切り花栽培では、生育中に軟腐病による球根腐敗が発生すると、切り花終了後に再利用するための球根が確保しにくくなる。これまでに、球根定植1年目では栽培期間中の土壌水分をpF2.0～2.2程度に管理すると、球根腐敗の発生が少ないことを明らかにした。そこで、球根を据え置いた定植2年目の栽培において、土壌水分をpF2.0～2.2程度に管理した場合に、球根の生育状どのような影響を受けるかを検討し、以下の成果を得た。

- (1) ハイブリッドカラーの栽培期間中の土壌水分をpF2.0～2.2程度に管理すると、定植2年目の球根据え置き栽培において、球根腐敗の多い品種でも腐敗発生率を20%程度と低く抑えられる。
- (2) ハイブリッドカラーの栽培期間中における土壌水分をpF2.0～2.2程度に管理すると、切り花終了後に球根を掘り上げた時の残存率は70～100%と高く、定植時と比べた球根重量の増加割合も3～9倍と高い。

以上のことから、ハイブリッドカラーの球根据え置き栽培において、栽培期間中の土壌水分をpF2.0～2.2程度に管理すると球根腐敗の発生は少なく、掘り上げ時の球根重量が増加する。

4 その他の資料等

なし